草具 通作太陽中初 開始 所行歌 東條首相參內

【東京電話】東條言相は十一日午

章本的・八人丁。前十分宮中に参内・天倉田川 一大山 高神 (日けけられー配度がいっき 田田 木 在 受し、私 人前下間と巻音して都前 電子 本 を 受し、私 人前下間と巻音して都前

メラウケを猛襲 に大鐵槌一角機十九撃墜破地上施設 政機十九撃墜破

びせてこれを爆破炎上でしめた外滑走路、誘導路、高射砲隊地などを完備なきまでに燃放 墜し地上にあつた中型機二機、戰鬪機十二機計十五機に直撃彈を浴邀撃せんと舞上つたカーテスP40戰鬪機十八機と交戦その四機を撃 した外附近軍爵施設二個層に大火災を生ぜしめるなど敵に大鐵槌を加へて全機無事歸 ニャ南岸メラウケの敵飛行場を急襲小療にも我を

守りは固し」の日本、 「日本本年のの選手」日

めアラフラ海のケイ ※防な酸素を複じする酸器軍は最近わが精方占領地域にも出送八、九兩日にわたってアンボンをはじ 延筬敷大機が來襲したが、これもわが方の地上他火により擊退され麽三ө亦來對とがわ至底に自斷退され,力量斷には7ル階尚、アイコールと双發爆擊機 破が來學技障したが、わが方には被害がなかつた、また同日夜間ケイ諸島トアールにも四級大型優勢 れもわが鐵桶の守備によって撃退された、アンボンには八日夜間機種不明の敵ラ 的を果さず、喧嘩として選正した



てラエ東方五キー、ブス河口近くに渡河を企圖したが同方面のかが縁般部 らに磁は強な利して舟艇二十數隻をも 契機として連日激戦が展開されてあるが、八日古 【太平洋〇〇基地十一日同盟】ニューギニヤ圏ラ エ附近においては去る四日酸米軍のホポイト陸を

觸の航空戦 さすこれを殲滅した、なほごス司は水郷三メートル、水郷一メートルないし三メトトルを企圖したがわが気はこれに暴水を受職を加へ水際より水中において一天も餘 日朝來ブス河左尉に渡河を設備中の敵は同日夕郯約二、三百の兵力をもつて强行渡河 際はラニ方面附近よりするわが他盤と相まつて完全にこれを撃攘した。 河、帰以五百メルサルで並緩兵といへとも渡河は極めて困難である



敗め、地上部隊またこれに呼吸し 一種就過袖一瞬の勢をもつて東脳

の綜合戦果 日間と

交戦回数三〇八 (11二六) 交戦の加し (指弧内は共産軍) 脱の八月中における綜合服果左 一個の歌道を加へつくある現地型

(五〇六)学講「、〇三八〇二年 ことへなった、イタリヤ國の耐郷 要なしに再び踏着にお話が出來る る重要に悩んでゐたが、今やこの



今や重荷から解放 権ぎなし大獨逸の鐵環

說演統總已

Aがジオを通じ、ドイツ金融版と、単次するに至ったのである、かれ続は十日午後八歳半瀬続大本館か なサボタージュ行動を整置し認識がより、100mmのである。かれのでは、100mmのである。かれば、100mmのでは、100mmのである。かれば、100mmのである。 らが多年組つてゐたところは個伊

の戦も歐洲大陸における英軍に對 イツ國と共にイタリヤ政府が成争 一九四〇年六月に至りム統師はド に参加するに必要の政上の階前 する戦も、すでに決定してゐた、

で決定するまでには極めて困難な の最も重要な徳であり忠誠のない

取り除かうとしたのできる、この ためにイタリヤ國民の悪菌な数を 社會正義に對する反助分子を設置 も想像が出來よう、忠誠こそ人生 日國徴兵

ル・ド・ジ 一千抑留

ユネープ紙はイタ

「ブエノスアイレス十日同盟」ニューヨーク来覧によればイタリヤ 海軍の蠍巡二隻、襲逐艦二隻、府 リー兵二十名がスイス領内に逃げ 反樞軸軍に 投降か

ランダ調査隊の發見し得なかつた

地を遙に凌偲する電力が得られ、 水力資源は豊富な水流によって内水力資源は豊富な水流によって内

ギニヤは食人種の単瘤の如く考へ

られてあた定説を完全に破って原

ルに到着、反個的

平古斧鍬を入れぬ原始林から有用

った、この原始林には塵場として

に峰伏した宣艶楽した 日野軍は十一日口 電に降伏

薯、大根、キャペツ、トマト、茄 | て立派に役立ち得る監秀な人種で

他の熟糖と述って米、甘清、腸鈴|進歩してゐて東亞産設の或士とし

整智は現在後を絶ち、文化も相當

鵬翼連ね敵基地爆撃の海鷲編隊(震響響響できょう 獨·事前に措置 ルカンの事態収拾

外交、當局筋はドイツ、政府の南ヨ 同方面においては事前に充分な あるとは看過出来ない、過去に

これを経営な好な必要の結果何らびに南部チロルにおける伊軍

る動策が眺ぜられてあった宣言明 獨軍續々接收 閣僚には元領袖

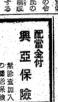
政府の構成についてドイツ外

フアシスト

一大運動化しようとしてゐる 國民政府構成

一方消息所の演載によれば新政府 間の形式をとり、元ファシスト第

野哥長ファリナツタ元文化電像 二柄氏および統計の合



よりよく戦争を遂行するために 決定した最後の原因はム流師

の輩老保険



等各種榮養源の綜合併配ノ等各種榮養ル、特別を現在し、胃腸を現在して服用者の體質を根本的に增健となるビルツ菌とでものというでは、発養化し、胃臓を弱くのに対して、発養をは、対して、発養をは、対して、発養をは、

呈進書明說い

共同の血が流されたのである、 の場に立ち、趣多の威場において

血壓中福の故障を

がその練熟の妙一世の名手長内 技振るふ近來の **颯爽篇**/ 長内端と管紋栗四 婦合笑顏 ★ (ペッペき) (**ッマニンベッペき) (**ッマニンベッペき) (**ッマニンベッペき) (**ッマニンベッペき) 錢九二國七・入ムバルフ・組収三吋十

ド_コレ_タクビ

時節柄 お願い お

の文式官に対し定期欲動の御沙汰一提旭日大緩軍を投げられたほか八千七十八名 際田京城帝國大愿総長に旭日大綬

十日の閣譲に於いて留日邸生

明るきを感じさせる快報であ 配共衆國内各國、各民族の青少 ものあることは変にその前途の 東亜延設の具盤的進展に伴び東 とを持つものである。 我々はそのことを心から記 将來の 雄飛に資せんと する それに ついて 阿部文相も なに燃ゆるところ、多大の好感

酸の焦躁的反攻は苛观なる

かくの如く日本に留恩せんと

れたものである。然るに大東

厳相を基してはゐるものゝ、大

の感遇に関する方策が決定した 一製上、種々御下間に整客して **西部文相は直ちに宮中に**

はゴ夫々の個内に於ける指導的 る理想の實現に苦樂を共にせん 而して、その建設の大理想を、 直接日本の現地に於いて獲得し 人材であり、日本と共に大いな

留日學生處遇について

する青少年は、まさしく大東

【東京電話】民芸選りでは十一日 慰しては遡及窓跡の御沙汰あらせ 治蝦

定期被動(千日付)|あらせられ、なほ一千百七三名に

銀二種等中國內海陽

· 經 岩 同 上 壓 地 監 附 に

に七日引 ンサーP43一機を緊密した、さ

月十一日十五禄)昨十日十五禄十一帝日国を慶臨せるゆわが田立公四

伴ひ、その都空福を働っていよい「材ならびに人員に對し大損害を興空戦は地上における彼我の激励に、避して同地點に集積された減の後 **学館は増上における使我の影館に、職して同型態に害種された影の像、窓中館を、凝じ、戦機に 大道駅を廃水平井ニューギニア部方面の館 ろ、驚の示式イ上陸単塩附近を縁、鹽地館附近を攻撃戦機を登認なる** を観然化しつくあるが、わが航空

「南太平洋〇〇基地十一日同盟」「部隊は宏る五日午前七時四十分之」らに午前八時二十分を押して同上

一機を開墾したが、古のに「一後を開墾したが、古のに「一後を開墾したが、古のに「夢を慰婆」

壁に根獄して輝上つて來た敵 P 38

*****戦局は愈よ熾烈

(版二內市)

分の二回にわたり戦緩戦令の戦米一もり、わぶ方の道際観光なり一般を懸然

【第ロ十一日同盟】中東軍簽奏、九一空軍は武滅方面に來難し、進らに | ある歌上陸部陳宿然地附近を火網 へたのを言つかけに、六日にはさ 見へるとくもに リバブリック ラ

| 八時十分にはさらに同地版を歌歌| 打嘘を興へた、ついで八日の午前と すのでが、これと歌歌所大 に對し夜間攻略を敢行、同地點に

わが、學術の陣営、茲にも凱歌

氣强しニューの資源

第一次の調査を完了した
が月宮間に紹する参普に堪へ世界に贈る輝かしい成果を收めので
説が採板隊』は現地到着以來
の

世界探檢即上的歌歌的本

的な歌語を固め血のにじむ湿の雰、世界地圏に懸されたこの松濱の窓一般競を持つものだけに陳島は決死。資源が遵太楚見されたのみならず

資源が置々發見されたのみならず ち放くために必要 にして 重要な 放棄したこの暗器道の各地から遊が数次の調査によって意源なしと

深く相補んで、世界に記述する に於いて先づ直接その数導に當 新しき大東亜建設の大薬に邁進 る我が教育者の使命は一層軍大 せしめたしゃといってゐる。茲 となるわけである。 他ふに世界史は最近までその

史であり米英の謀略と勢力の下 にあった。ことに曲細語の近代 直旋に於いてヨーロッパ人の概 数質の 確立を聞られば ならな 思惟した者がゐたが、 の中にあって、先づ我國の教育 数高着自身の中心

ヨーロッパ的歴史の頁を斬り数 ある。この大いなる歴史の献造 て各々その所を得古しめへたま 奥を一字たらしめ~ | 選邦をし いて。大議を八匹に宣揚し、坤 にあると思はる人のである。 感ぶ處のものも、留日學生が日 る。日本自國の青年駆徒が求め **臺道敬意の實験に敬すべきであ**

現に選進せんとする。南年に於 に今新しく起ち上つて連想の電 年は等しく練覧にして いてその燃は熾烈なるものが 正等しく純質にして熟然素 る。このことは数質の任にある 人々の上に一般とその研鑽等力

不足感を抱かしめるとしたら、 の歩みによって包護せしめ得る **それこそ 墨國日本の 恥辱であ**

く集り來る大東亞の青年達が、を切録して已まない。かくて既

機能することを思へば、まこ

的にも敗戦オランダ、アメリカのことに、明かとなって、來た、學師 を駆けたが、オランダ、アメリカ かって行った関査の不完全さと段 所から数ケ所良質のものが殺見さ あるのが常識だがいくでは珊瑚礁 となった、而も石油と深い關係に 配にわたつて適出することが明か られオランダの調査よりも階配

地質圏の如きも従來の答白の部分 して大きな意識を貸してゐる

ルゼンチン國民に反米威爾は一般 と無烈化してをり現在までのとこ 任するに至ったが、これがためア ろ別に事件は設生してゐないが米

物々しく巡邏する有様である。

豊富さな 暗示するものと 子などなんでも立派に出來ること一あることも明かとなった 「プエノスアイレス十日同盟」ア

ルゼンチン
舛相ストルニ
提督は
米

食り 自じ

随國に對する聲響と同様だと資 ル長官の設面は恰もアメリカのリカ政府の不遜な態度を難じハ

米亞關係紛糾す

距闘係の級糾に伴び途に九日夜鮮

ヤの吸瞰は今にして思 へば、今次の無條件降

配のつけ火によって

て可及的にイタリヤの

第に多少の影響性はあったかも知

たとの推測も可能である、ロイタ

日の路急艦過では一個皮が個

けたいと考へてゐたに述ひない、

して中伊を一種の緩適地能とし日 のナポリ以南を米英の勢力範囲と 合意の下に 咳嗽が起っ たためか どうか知ら ないが、四

比較的强硬派 が題し

西のつけ火によって「臓者の機頭と見飲し、一方におい「熨命令を殺してゐる。ファシスト戦隊

伊政變へ友邦樞軸の備へ固し

直接の連絡がついてゐて、ある程

| 政権下に於いて既に間接乃至

と主張したともいはれる、グアリ

時のパドリオのやゝ中途半端な降 と述べてゐるが、これをみても當

正式調印が

赤だ明でない、心らくはムツフリ

神給金の内弦米石笛に囲は、生命 は種々困難なる斟削が存するので 自般的施設のみに添ねて置くこと 必るが、之等の数に関し生産者の つ指導を加へることが最も肝要で

一変付するの方法を連げ、

常施設にこれを

売留せしむるや

「顧問し昭和十八年商米に對する

あるに飲み、さきに内地の搭置

連急増産を聞るの要切なるも

時局の要請に対応し食一

増産施設に充當 米穀補給金使途指導 に秘密形では本年度 茂米に對し 玄米一石當り十二國の補給金を 交附し、このうち二國は

1、米敷増産上有効適切なるものたること、一、施設は出來得る限り、生職者が普遍的に均隔するものと日成效を得たので應れ高度感を以て増減施設質施方の内容を發表した、これによると施設薬定要領は | 歌麿に現へて生産均強に必要な施設数に振向けることになり、 魔林局でこれが具備家を 考究中であつをが

等を指示し、その総思十八年度においては指導技術員の設置、應號增速性調量の活動促進、部落共同作業の擴充その他の施設を決定し 四、施設の地方的国分は米穀供出数のたること、三、米穀の生産確保

だものである、農林局民談話要旨は次の通り は殿惣者の協力は勿論、関係官民 とに決定したが之が重陥に替りて 日本原置計算協会朝鮮本部では明

の防除、自治肥料の増蔵、農耕生 同作業の城充縣師、壁村投資共同

抑する爲生産者に對し、從來

馬の充足、土地改良、単位版時動 原價計算展

獨軍電擊口一マ占領

の結果、昭和十八年度に於ては政 どるやう相信考慮する

決版經濟が契請する原質計算制度 五日から三越

よくサ月 11月日 書き前書図 18 電影型立型語子の問題は實得用 ▲銀一配放影画・離内重架像出出 、其の他必要なる施設を終すご の公面的普及徹底を以かるため、 品 (高温度、柳盤石油、三菱銀 めんことを切回して日まぬ次第で の理解ある支援に俟つべき點が多 ★第一部八門篇=第一なぜ原四計 **商報局、壁、梅運省、臨上省、朝** 開催するが、展示内容は次の通り 解問職、京城問職と共催、企畫院 十月五日から同十日までの六日間 原質計算,第五原質商本

内に於ける感金脳層は勿論、輸移で必布、施行されたがこの結果樹

を再生加工工場たる別餅ブルミ を会部、回收資源於側會社が段

地方組織化に積極的動策を設す

金融層の配給統制規則は十日附

練工場、軍場係よりの極金脳層

輕金屬屑の配給

帝輕出張所扱ひに統

全國九地區

重產協支部設置

をやらなかつたら・・第四物図と **意限り返用出來す、すべて帝國輕** 入せるものも總悟の特別の許可な 而してその経路は一般家庭、戦 覇は出張所の資入れ及び配給に

は未定であるが月末ごろには決なるものである。なほ買入價格

産協としては統制會又部制の確立 立方策を考究中である、而して重 ことになり、目下地方支部側の強 統制會の現場氾盟方針と開際し、 【東京団語】東要産業協議會では

全の威盗を進めつつめるのを見て

機械(丸箔出品)原質計算資務

を設置することになり、その手初に部會 **その他)タンニン、皮革、食 イザル前に限定)薬用(キニー イザル前に限定)薬用(キニー めとしてゴム、油脂の二部を設置

島調整に振出すことになった南方標を除く一般健林笛点の開發と交 を収組滅元してゴムだけでなく砂 南方農協に設置 と同じ水準に達し、而もこの水砂 穏助機ばかりいくら大きく

事でいたのはの時では、会際とも記されば、

時速にすれば 一二〇〇キロ に 音の速度 (毎妙約三四〇米)

業種別部會

近代戦の兵器

(E)

そうなことに

何を示唆する。

登

記 公

告

秋田證

談長局林農

人なつて來たとを物論、てゐると、キロ以上ともなればも早や用をないている。

ru、五七〇 い大高度の成階圏(一二C1から八〇〇 即ち空気が邪魔ならは空気が3の本のない。 いちにょうねばならない

を突撃するとはなかく 谷島でな 現在のプロペラでは速度が九〇〇 カのものとなり、ゆくゆくは三千

て母を重視して來る様になったの る如く一般に五百歳も千歳も囲み 打ち浴されても次々に大量を輸出 又最近の英國の蝦逸線隊に見

心の様になるとすれば恐らく、跳跳道・又質智の出れが若し世的に同じ数で戦、保し数國の陣地に成立

、吃利指八年七月30km 株成20mm 代表取

町部隊に協力する等多方面に亘っ脚機隊し、又職情の捜索や地上支

の任務に從つて各種に

て空中活動をなすの

であるが、モ 速度上昇

種に従って武政、装甲、

数を以て敵に留り而も募々たければならない。我軍は常に

薩曹所在地に交部を設置し統制的 イツ町の毎中に届しつつある、

の取果に見られる通りであるか、関軍航空部隊の任務は地空間を指行に都合のいる機に

られてゐる

るべきことを命ずることが出来る

昭和指八年七月

増限に即應せんとするものでの副八百長式に上陸作献などを行もに地方顧の運撃を緊密化し生産を休息帳款を八日まで隠滅し、そ 文部場と緊密ない路をはかると の間八百段式に上陸作成などを行 にドイツ軍が狠狠するどころか恰

ること敵側放送にめる通りで一向はイタリヤの無條件降康で

北伊のファ 間に良り積極的な反共工作を展開の極力を結集して思想と行動の所 脱の結成大會は、九日午前十時半 せんとする範北民衆関係反共大同 順共委員會に呼吸し「魔民衆

北京中南海の選に還に敬天會

どめたに過ぎない▲日本の頭いの 質問で云へば、牛が死んで靴をと て山河ありとは云っても、 ところだ。從つて無 を 伊太利の 國民を 憐れんでも、 には破じてないと確信し得るが常 一型力がある団は吸ひ、もはや 平家の最後を笑ひ、北條の最 あつさり手をあつさり手を ないのです 條件降伏をし

曲! おこれはたの もこれはたの もい青春行進 坂三飯上河高 本浦田原村峰 光蝶 黎枝 武子子謙吉子



へたが、

北京特質十日級】極に成立せる 世界の敵を撃て 華北に反英同盟大會 の 四、 四本大臣宝なは地方長日は他 即は行組合・ 製料質行組合・ 製料質行組合・ で 他の原際と関フはした町村健康 が 自のが終に協力すべきことを命べますることが出来る 米ず、大將も公遣も地をす 領氏の常に屋間、横の

经上头、昭和岩八年七月 公二男、昭和岩八年七月 近朝祖行政整體變更 取 观想过度加速度 班爾安 魔雄泉城が中温泉四町の深深式曾は変現の

度であり、 さればならぬ。 し、その短続 は、致発は組 別は、理場の 相談である▲ 版の放き、 篇完成/ 員空の 互 を の 国 を の 国 系白日六十 /定決切封 修監部本空航軍陸 原館佐村村 明述问题 核山的 畵映民國局報情 糊文線習 保 美代劇 腐推省。部 文

今は郡民悉く自作養蠶 紫照人原製雅製造築場内昌吉氏で ため地の遊下けを受けて開發し であつた、最初荒無地であつ はすむする。 生した真面には歌身的な指導者の 置一手の外なきとを力能した の有利なとと、部落の更生は楽器 の有利なとと、部落の更生は楽器 利資金の融通を叩いで部署民に一 整密新級を眺め、極力整整部及に 飼育分場と言語、金融の方法であ 手段として異彩を放ってゐるのは 奔走した。短内氏の養露指導音及 合せて八百枚、舞山洞回二百四十 ふ今年の諸立枚数は九間洞が春秋 畦畔植桑で苦心

慶尙北道

ケ那落によって保持されてゐる の政権は今回九盟洞と箕山洞の二

> 陣頭指班の畑内氏と箕山部落の筬 哲

良に海目し畑作に支障なく而も

施に着手したが、架して無理解な 先づ共合作業として駐畔植業の質

九百六十五枚 八十四百三十七四、秋寒五十

層民の猛反動で戦闘にぶつかつた

備か一日後の七月廿七一ころから連絡が行はれてゐをかはし 荒地に幾度か試煉

つけてゐたが、未だに初歩的養鑑

前月比減少 交換 原原手

個やでの味 倒小帯シ出 観がにを物 をにおのて 途内形を用 むるのるる

現に 海道神劉神主の 木谷重次郎 多い、氏の最も力を入れたのが植しの飲身的指導の 功に貧ふ 嘘が 高度語の
顕紫地域を促して今日も 緑の故境で現在部内一層に被送し
ムしおたのは 時の 野面鏡近手で てある 献身指導の木谷元技手 次は嵌の改良であらう、その他

見られてあるがかうして毎年過入 海道に於ける 延は日解併合 管時 今年四月には氏の別徳碑が建立内一面の駐畔極柔が完成した製しみと辞敬を引つて迎へられしし七ケ年後の昭和五年には大陽節

内外地相互の関報交換その他 生産集荷配給その他調査将項

のである、氏は自ら植桑し施肥

小年首初よりの延道塔は署しく増

会理船舶の放阿は一段と開化されるが、海上輸送力を増弱すべ いても船舶の被性少からずと映想 の機相を起し、致が補給路にお

設局の展開は奇烈なる一大消吧

計畫造船軌道に

つつあることを示唆するものがあ

新船活躍期待さる

写るとと(ED)施設の地方的。政府答説では既に協時においてとる。(等があげられてゐた好、目風阴國能に因り之を中止文は輸少す)

は右の要求提示に置いて緊急階層

グアリヤ外相が探外頭頭頭に取じ を開催したとある、この階層では

部施行 | 不服|| 中央電磁所の 五國際に解散|| 一、市町村協議のの景が習しとない。 商組中央資、管資、全義職 の如くである って麗山風村新騰制が確立される とことになった、而して**製林省では**

法令に規定された主なる事項は左 勝留は本月一はいに一切の設立手

の影第二日は十一日午前九時より 神田墨士會館に開催、決敗食材非 【東京電話】內外地質個對眾連絡 部態場下における門外地の完全な 情報を交換

少しでもよい條件を獲得するを無係生母級には患ずる能はず、 よい條件を獲得するため、 農業処債登記令の三勅令なら

百風でこれが養職の御路で二 作職といる往時の数数部落は一個 て、植桑反別は九十一町歩、鹿崎 た大正十三年頃は除程改良道法

に一方ならぬ苦心を知れたがこ などに関し灯見の交換を行ひ、午

同の説明は奇烈なる一大消略
「同して今年の凝媚を放班されるに至った

して生産者に代って食品増売上水

き動の界世間週 なかつた、偕時ムツン なドイツにあってはこの點で強湖 たのである、特に利害関係の

でイタリア唯一の欧旗であり、且

その後の移動は、すべてイタリヤ

そんな勝手な休殿條約を認める管 によって完備なきまでに関係

の放漫的態度を一個して和平反共 れは選北のみならず和平、抗戦

農業團體法

第八十一通常願意で一びに省令たる職業関係法施行規則一命令を發し、先づ中央路警官の設 直ちに中央農會設立委員任命 の實施 あり中央協業的および全國機能認 翻訟會次いで遺所除盟議會および 立に若手するが、可識を全國股業

震災の打倒に緊起したものとして

十日にパドリオ政府は公式路明と し休蔵交渉開始方の正式申入れを やうな シリーのパレルモにおける反衝域して市その他中母の要様でルジエにおいて行はれ、軈てシーれば北部はいかまでもな

冷靜な自粛續く 原げた後、これに残じた▲図にび

つ今日に於いても最大の政黨であ

は正式に外交機関を通じてバド で健認した。同じくロイダーの 成立をみた農業関原法の施行につ

注目されてゐる

いては風林省において戦情を進め

関係統合は時間の要請によって

期日に関する件、農業四個 民民法令は歴楽團憶法の一 十五日より施行すること
ムなった

「趣國一個」を標別したにも抱ら

せざるものは三分の一に過ぎず は世ケ所あり部落民中解係を有 類限で、関窓金線の方は年賦協 類としてあるが現在領資分場

な理解というな何あつける

可お渡る初秋の空に風と飛翔、場内の一角より放たれる数目

本助作を鮮かに展開

見惚れ

る人

田中總監 打揃つて調練場

うに知司令官に御被降するといっを獲得したとなどをわがことのや

おいて大陸保護域で一等の条符中が庭は関氏が一昨年御前試合

時局防空必携

に数温家町志の和やかるだ。

一、燒夷彈の落ちた

飛沫をあげる第十九回朝鮮神 がねの微力を發揮して國民皆

会園飛行場において航空間急日の に郊押く / 繋/の踏動によって軽くとこの日午前九時からはこの女 行され、汝矣島飛行場に終日決職 學鷲の威謝飛行 殉職者の慰靈祭も執行

敗米、英殿滅に突入してゐる、そしていま配局の勝敗を左右する鯉は航空機の量的 一來た、前級へ敬必滅の / 異々をどし / 差れー

體圖 沸る鬪魂 人會第一日

縣

(戶脹、芝野、松本)四分十秒九九秒九2 網中3 松都二領1龍中

の火ぶたを切って著した。自由、「門、凱伽蜘絲では」「隣の石を持つ」かな妙技を見せたのち、指原第一の火ぶたを切って著した。自由、「門、凱伽蜘絲では」「隣の石を持つ」かな妙技を見せたのち、指原第一

各種四十級

大日本雄辯會講談社

月號近日發賣 倶樂部

ニッポンデー は人選の勢苦が の中に林檎を培 琥珀色に澄んだ

補掘・防虫・防水・防縮すべての衣服を 三倍に强化する 水湾と、電行すな 水湾と、電行する 水湾と、電行する 水湾とはまする 人物、毛筒が再週に面 ・センド、砂瓶野あら やる際物質と最高

衣服類の戦時體制に 伊藤萬懸京城支店

笹虎製DB ₩

京城職業紹介

いふ方面にあたらして行くやうど

行場を作り戻す一のではなく、一回監督レフスさら、それは、戦争の・孫段階に勝じよう

飛行場の建設に囚人の奮勵

京原記すべきもの | 採用しました者より能率をあげて| 宮崎 刑事課事務官 「す、かういふやうにいきなり加す」に國民の関心が向いて來てゐます」いのではないか 最近は生産増殖といる問題に非常

いふ行き方で行かなければならな ぶつかつて駆争生活に主みれると ところにその目標があつたが、今 消極的な治安の維持といるやうな 英雄の行き方も大阪子等では **大野京城覆審法院**

物点を伺って

の一人十七歳で御路前科一型のも

何故失敗した かこれ は却々姓

更に思想保証も保証観察 でからです、 一般保護に 一般でこで引つくるめる

それは結局など表

四部會

社 電射413

選品が格 金巻千五拾七四半送ノ方法 小口扱

座本社主催

明日新聞社の滑空機制約式など呼

ばみんなお役に立つ赤子

"青年國、青川、鄉

ため必ず辨盤と十分の湯茶を明

正夢

割増金附定預の初抽籤

日本海汽船配

一等一千四は國旗と現金が各半額

つき内務省が保局では十一日午前

地震の被害狀況および救敵劉策に

観戦の小磯総督

師)336 木(龍中)六組1隊 田 秒二2位田(護 正)3松(光師)一分卅六秒三2萩原(京|師)五組1億山(松都)一

同一時半から一般人は明らこの

としまひに、私のとう

四百五口

川島屋證券京城支店 電話代表 ② 一四七六番宗城府黄金町二・朝耶内

ワイシャツ修繕いたします。

長 それには 長 それには

マップンでは、100mmの 100mmの 日輪寺の新



機能は一種が、理由 日本では宮研究所之を経験し届く会験業し頃立カリヒ研科宗では多め会使命

で簡単を信有せるのみで大部分 子曲の外には相對に関が無かっ 子曲の外には相對に関が無かっ

らい病新治療剤

ベロイド

ジル

日本醫樂研究所

大阪市東西高麗福蘭町五〇十六

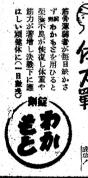
用用面的 有Di数:有J錠

日から服つた十一日(初

第二篇 ア系 抽 1、000

(中川)メイシュン(中島)セーンビ(坪井)ハクセン(高谷)シハル(宮超)メイホウハヤテー(今第六號陽新呼島)、〇〇〇

政 カグ (昨井) トョカワ (宮政) ナ (毎中利) ナ (田中利) ナ (田中利)







瀬甲の型國班が表彰される。七 | に同二組内の七、人、九、十班員

大いに海に暖へ、多大の成果を娯楽錬成を質施、職立に女の心身を

日頃の訓練を見事發揮

動員して消火に暴力、日ごろの をするめてゐたが、九日午後二時 東合同 ンで組合を組織すべく準備 内华 · 人则豆腐業者廿二名



消火に殊勲甲の愛國班表彰

数年者を絶滅して一人でも多く生

◆貯蓄の製動=同週間中逆毎℃|海重高管府へ持急間割した

遊休者の経滅

清凉里に職業紹介所の出店

電信競技會開く と正確を至上使命とする意信

必勝誓ふ默禱

1466

われ等あくまで「厳素にし

加配学

者役に原住民

いてゐた。

機進軍への固い決策が示さ 齊唱して終日を決敗生活と

民たらば、猪股さんを

だが、加太郎の直感では、日人なかった。 あひ餘裕をもつて立つ 日頃から鏡破してゐるらしいです

あれば何といる名前の原住民で

『ああ、勝つてきたなあ。川田彦』 らしいことではないことではない あれがわれるれの宿食だよ、新读、よ。原生民は日本人を本家の伯父 繁変といるのだ。 「あんなことはこの上地ではめづ

紫質烈は賈事務所 求貸又は賈事務所 鴛海醫院 鴛海元則

合唱

済 科

□畜土院 三病番

医学博士 白川 寛 京城元町一丁目一〇八 (元・平岡医院 跡) 郷話竜山舎1151

共同組懸羅荷物

場劇《日京

涂 注 医 院 (H) 494 ダ河南科

荷造語品中的影響

日本ニュース朝日家庭グラフ朝日家庭グラフ 若 黄金町六丁目電停南 医学博士**橫山久衛** 電話東局二二一六

原動・富水ビアン製銀河の一番である。 一番水ビアン製銀河 一五十年前山人口間人の投 希望者集

小兒科 ※光線・入院室完備 電本8.647 武橋町五六・京城府廃北一丁

-第 場劇

派日姜工博学医

医学博士 京城和信集

新作業公司 場劇洋東

座富 美容生 東二八五一

17:24 (2) 28



日







解成の初秋を迅へ京城府體育展開 を行ふ、府民の多数参加を要望し 及び接触夜行算別線その他觀話等

すか。それはちよっとむづかしい

博士のえらんだ名前で

葉風を

方に指を含した。くろぐろと繁茂 村上松多郎種

殖般の間ひに、原住民は今こし

えたと、コノリア、スペニ

勇士と遺族を護れ

來月軍援週間の行事決る

の八日家で全國一層に

問文を遊差するとともに、出征問文を遊差するとともに、出征問門出征會員に慰問品、販問でを願る

働意行配では十八、九兩日にから

十六回登行鍊成

一山の踏破

一百個6御守

が海軍へ献納 洋裝研究所員

なんだって、ユノリア、スラ

『我が家のみを照らした場合よ、」よ』と京城鞍山國民題校六年の配

我が家の燭台も砲彈へ

いえ、玄関家で持つて変ありま 能にはちょっと得歌らし

して目の前に見た宿舎は質に歌節

流開眼

德

引克· 受名用 人物所

本ニュースの庭

原識界 1人の監

王者

、施行規則の大綱は統側の對象に米穀、大衡、標路、小衡の外難談、澱粉、甘富、馬鈴塘の加工品である種類、

各地區の伊軍

、北部におけるイタリヤ軍は同將軍麾下の部隊に對し降伏した

獨軍、迅速な防衛措置

部分々々には農米など数

巡洋戦、職談艦各一後を大阪した

同盟D・N・B

伊海軍に殲滅的打

ライス灣を爆撃

前年度實績の半分

動中の敵魚雷艇二隻を發見、直ちに銃爆撃を加へその一隻を撃沈、SV同時線の駆逐ニュージョージャ島西方のワナワナ島南方海域を行らびにライス總方面の敵地上陣地を爆撃上が、緊急が高のとSK明・フィ

心理が人生を

はいない。 受映場

中全南流生物 一个田 迪肯

が自動 息

主要食糧の管



後任はキヤビチャか

でしととなって 立後民々必要 流行しその他 震殿と必 りであるがこ

高麗 三百名

光浴以九十餘名

戸要塞を屈伏歸還

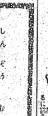
湯森計能器 密藤和香藤 密藤和香藤 電長級異動







切つて擴大鱗で見ると、糖衣のされると酸化、減効し易い性質 するため特許の製法で造られた いふだけでなく科學的な苦心がもので、軍に服みよくする…と これは外界の空氣と光線を遮 層が幾重にも重つで見られます



心臓・胸・胃の弱いがにく 特種動物ホル

を といったがイースト限が別別品二 ・ スキオースト限研別所別品二 ・ スキオースト限研別所別品二

猫ほどある大鼠。育つた できょうを終見された結木機 側の側に対動木女助得士は、骨 つての間にに、動物質験の結果、 が成分が考へられ、その本態の で明が即称される。と際へられ たが、或る夢清が、最を制管す たが、或る夢清が、最を制管す に、十スト南を 肥は 寝。せた人 でして

映るものと、物質な同のみに よる二群になって下釣したると ころ、イース・マク吸へたる量 群はは、なる場の事を続け帰るなつたの 別に對する無流が帰るなつたの かでなく、二代日三代目になる と地質にならぬ大量となり窓に は備くらのに大きく慰った。

ス

ŀ

菌を投與したら

(原信) 一週分二回 「週分五回。栗店デ 「週分五回。栗店デ ビタミンADは空氣や日光に響 教心本語 「題原語」(1965 CENT 「現在 東京七二大省 二丁月十二

こうに拂はれてゐるのです



0

のであつた、瀬戸内海の海峡の ・社古の海峡の遺跡を踏査す ・社古の海峡の遺跡を踏査す

作者の言葉

新京電話・激光型國の先 **旃洲國建國廟合祀祭** 造冠、蕨科國是鄉野以下塱

四千六百五十二日を合祀

海軍の強調ともいふべき言

の資源を指導し銀配機に熱心な

茶 **卷** 茶 **卷**

ビと鯖の殱滅戦

大群追つて忠南の漁船總出

月餘りも醫師が映員で細民層の診

献金の花束





和



が殺到し渡けてゐるが十一日恒

皇軍渡河も斯くや 奉納の若き力と闘魂の疑惑

火花散らす指頭

閉式、かくて腐々同一時半から 不す實戰即應の意氣

生態戦級へ職を築じ乍らかへる見るに至ったが

て駆逐と衝を行く人一

工幕民の衞生

買出し部隊に斷

経点人の線成に映く聴が多いと 『一日惨線画』を十一日から十五

日婦の錬成始まる

大島局長が表彰 城鐵道青訓

衣服の簡素化

京日歌檀 肺口的印理

店支城京券證村野 (國際東)五九一町金菱 第一五三二八(本) 居東 八八四三三城京署根

では 7

組員満 直若 營劇 ययस्यस्यस्यस्यस्यस्य



東主 高ら 10.

後三國志

の職家の事文に引渡された問題の成都占領とともに、お 後蜀三十年(六) 篇外餘綠

實物』呆り

常用將士十萬二甲

以構即 質文智 w 選 婦 だ 未 方 が 我 禐 一 の も る ざ せ 良い 見たか聞いたあの啖呵 見たか聞いたあの啖呵 系の石松/ 况御禮

仕奉隊組織

石が紅六點を変へての決戦場だ

モンペは女に限らず

爆爽たる 體振の上原さん

堆肥増産に

頭痛。

早朝十時半院場日曜は

第十一回(回は9一歩ナル窓) **粮田高段店勝城**就

けんの形況全国

弱保合

見扱かねば 圖